

出題意図

コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと英語表現Ⅰ・Ⅱで扱われる英語力を基準とし、読解力と作文力に関する問題を通して、英語の基礎的運用能力を有しているかを測るのが目的である。読解力の問題は、第1問と第2問で扱う。第1問では論説文、第2問では物語文を選定し、文体や論理構造の異なる文章を使い、語彙力や内容理解力を多面的に測る。作文力の問題は、第3問と第4問で扱う。第3問では、与えられた英文と質問をもとに、語彙力や文法力のみならず、解答の論理性も測る。第4問では、空所のある会話文を使い、会話の内容理解力と口語表現能力を測る。

正解

第1問

問1 c

問2 (例) さらに不可解なことは、英語の文法では全く冠詞を置く必要がない場所にも、しばしば、ザが登場することである。

問3 (例) ただの曜日の一つを表すのではなく、子供が病気になったり、電車が遅れたりなど、起こりがちなトラブルを伴った月曜日の朝を意味する。

問4 c

問5 d

問6 日本人

問7 (例) 英単語が本来持つ意味(機能)が部分的に日本語に取り込まれた例。

問8 a. × b. × c. ○ d. × e. × f. ○

第2問

問1 (例) 3食のメニューを21卓分、料理の変更や汚損交換の必要等に応じて日々新たに作り、代価として三度の食事の提供を受けること。

問2 (例1) コートや傘(などの紛失)について店は責任をとらないということ。(例2) 手荷物は客自身の責任で管理するということ。(例3) 忘れ物をしないようにという注意喚起。(例4) コートや傘などを店はあずからないということ。

問3 (例) これで、シュレンバーグの店の客は(自分が/彼らが)食べているものが何という名の料理なのかわかるようになった。

問4 c

問5 b

問6 (例1) デザート(ケーキやお菓子など)のすぐ上(に来るの)が野菜(料理)の一覧だった。(例2) 野菜(料理)の一覧はデザート(ケーキやお菓子など)のすぐ上だった。

問7 a

問8 a. × b. ○ c. ○ d. × e. ○

第3問

与えられた英文の趣旨と質問を正しく理解し、指定語彙数内で、語彙や文法を正しく運用し、内容が論理的にまとめられているかを測るのが目的である。

第4問

Question A

- (1) To be honest, I don't know much about it.(.)
- (2) What can we do about it(?)
- (3) We can take public transportation or ride our bicycle instead of driving a car.(.)
- (4) Yes, I think they should make it a top priority and take action now(!)

Question B

- (1) What should I do(?)
- (2) What is the checkup for(?)
- (3) Is there anything I should prepare(?)
- (4) That might be true.(.)